

# 自然を大切にできる心

～温暖化対策の礎となる自然愛護の心を育てるために～

<b>校種・学年</b>	小学校 第6学年	<b>教科等</b>	道徳科「チョモランマ 清掃登山隊」
<b>時間・学期(月)</b>	1時間・1学期(7月)	<b>副読本</b>	P. 15「一人一人の行動 で、必ず未来は変えられる」
<b>準備等</b>	副読本15ページ・エベレストの写真(様子がわかるもの)		

## 1 わらい

野口さんの清掃活動への思いを考えることで自然の偉大さを知り、自然環境の大切さについて考えを深める。


## 2 伸ばしたい資質・能力

- 教材を通して、環境問題を身近な問題として考えようとする力
- 自然保護活動の大切さを知り、自分にできることを考え取り組もうとする力
- 友達の様々な考えに触れ、多面的・多角的に考えようとする力

## 3 指導計画(全1時間)

時間	主な学習活動・内容等
1	○ 教材「チョモランマ清掃登山隊」から、自然の偉大さを知り、自然環境を守ろうとする心情を育てる。

## 4 本時の学習指導(本時 1/1)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
5 35 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エベレストの写真から、美しいだけでなく、大量のゴミが落ちている現状を知る。</li> <li>○ 本時の課題「自然と共存していくために、大切なことは何だろう。」を確認し、教材を読む。 (1) 野口さんが、清掃登山を続ける理由を考える。  (2) 「自然のふところは深くない」とは、どういう意味なのかを考える。 (3) 自然と共存していくために、大切なことは何かを考える。 (4) 本時の課題について考え、ワークシートに自分の考えを書く。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師の説話を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エベレストに多くのゴミが捨てられており、日本人もゴミを捨てているという現状を写真から理解させ、問題意識を高めさせる。</li> <li>○ チョモランマや富士山の例から、ゴミの放置はもう限界に達していることを野口さんが知ってほしいと思っていることを理解させる。</li> <li>★ P. 15「一人一人の行動で、必ず未来は変えられる」を提示する。</li> </ul>

## 5 他教科等とのつながり

- 6年特別活動「自然環境との共存」

## 6 社会とのつながり

- 環境保護活動

## 7 おすすめのポイント(さらに、効果アップ!)

- 学習したことを基に自分たちにできることを選択・判断させるために、特別活動で環境を守るための具体的な目標を立てさせ、実践するとよい。
- 自分の考えの変容が、具体的な行動にどのように表れるかについて、「エコライフDAY」を活用するとよい。

## 8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など

- きれいな山を汚してしまう日本人がいることに驚いた。
- 環境を守ろうとする野口さんはすごいと思った。
- 野口さんだけでなく、一人一人が環境を守ろうとする気持ちを持つことが大切だと思った。

## 9 研究協議の内容

- ICTの活用で児童の興味・関心を引き付けていた。